

1 題材について

対 象 学 年	小学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	第3学年及び第4学年の内容 A表現(2) ア、イ B鑑賞
題 材 名	「わくわく大根カーニバルグッズをつくろう」(全9時間)
題 材 の 目 標	<p>楽しいカーニバルグッズを自分の表し方で表すために、和紙とその他の材料を組み合わせてたりして、表すことを楽しもうとする。 【造形への関心・意欲・態度】</p> <p>楽しいカーニバルの様子を想像し、自分がつくりたいものを持ち、それに合わせて計画を立てたり、新たな発想を加えたりしながらつくる。 【発想や構想の能力】</p> <p>和紙とその他の材料の組合わせに合わせて接合方法を考え、それにあった用具を選んで使う。 【創造的な技能】</p> <p>地域素材である和紙に関心を持ち、和紙とその他の材料の組合わせによる表現の美しさや面白さを見付ける。 【鑑賞の能力】</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 題材指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習で行っている「大根づくり」との関連を図ることや、自分たちの地域に根ざした伝統ある和紙素材を取り入れて活動することで、題材や素材に親しみをもち、関心を高めるようにする。 ・4観点から本題材の基礎的・基本的な内容を具現化し、単位時間における指導内容を明確にする。特に、児童が表したいことを見付け、形や色、和紙素材などを生かしながら、その表し方を楽しむことを大切にする。その過程では、児童が豊かな発想や構想、その子らしい感じ方や技能などの力が働いており、その力を伸ばすように共感的な指導・援助をする。 ・作品鑑賞では、学級の実態や発達段階を考慮し、「カーニバルファッションショー」を位置付け、実際に製作した作品を身に付けるなどし、題材に関する意欲・関心を最後まで貫ける指導計画とした。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃市教育委員会主催の「創造展」(和紙造形の部)のこれまでの作品を数多く見ることで鑑賞の能力を伸ばし、自分の表現の参考にするよう指導・援助する。 ・ねらいから見た児童の課題を作品や観察などから把握し、評価規準をもとに個に応じた指導・援助ができるようにする。 ・評価規準に達するために援助を要する児童について、指導の手だてを具体的に設定し、その都度、指導・援助していくようにする。
参 考 資 料	<p>鑑賞資料：美濃市創造展作品(写真・スライド)</p> <p>指導資料：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/9で子どもたちが見付け出した和紙による表現 (形への関心を高めるために) ・6・7・8/9での導入に提示する教師による参考作品 (色や形への関心を高めるために) ・接合方法を示した掲示 ・鑑賞用作品展示人形

2 題材の評価規準

	ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
内容のごまとのま評り価規準	<p>【表現】 表したいことを表すために、形や色、材料などを見ることに関心を持ち、それらを生かし、組み合わせたりして、思いを表す体験を深めることに関心を持ち、表すことを楽しもうとする。</p> <p>【鑑賞】 自分たちの作品や身近な造形作品などの表し方や材料による感じの違い、よさや面白さなどに関心をもとうとする。</p>	<p>感じたこと、想像したことなどをもとに、よさや美しさなど感じたことなどから、表したいことを発想し、それに合わせて、美しさや用途などを考え、計画を立てるなど構想をする。</p>	<p>表したいことに合わせて、手などを働かせ、形や色などの特徴やそれらの組み合わせの感じを生かし、前学年までに経験した材料や用具などの特性を生かして表し方を工夫する。</p>	<p>表し方や材料の感じの違いが分かり、親しみのある美術作品やその製作の過程などのよさや面白さなどについて、話し合うなど関心をもって見る。</p>
題材の評価規準	<p>【表現】 楽しい大根カーニバルグッズを自分の表し方で表すために、和紙を中心にその他の材料を組み合わせたりして、表すことを楽しもうとする。</p> <p>【鑑賞】 地域素材である和紙に関心もち、和紙素材を使った表現の美しさや面白さを味わおうとする。</p>	<p>楽しい大根カーニバルの様子を想像し、自分がつくりたいものを持ち、それに合わせて計画を立てたり新たな発想を加えるなどして構想をする。</p>	<p>和紙とその他の材料を組み合わせ、それに合った用具などを自ら選んだり、工夫して使ったりしながら、表現活動を進める。</p>	<p>和紙とその他の材料の組み合わせによる表現の美しさや面白さに関心を持ち、作品のよさを見付ける。</p>
学習活動における具体の評価規準	<p>自分の表し方を大切に、意欲的に和紙素材を使って表すことを楽しむ。</p> <p>和紙素材を使った表現の美しさや面白さを見付け、自分の作品づくりに生かそうとする。</p>	<p>形と形、色と色、形と色などの組み合わせによって美しさや面白さの感じが違うことを意識しながら自分の表したい思いをふくらませる。</p> <p>つくりたいものの色や形、大きさ製作手順や必要な道具や素材を考え、構想を練る。</p>	<p>根拠をもって接合方法を選択し、順序や方法などを考えながらつくる。</p> <p>形と形、色と色、形と色などの組み合わせによって、和紙素材の美しさや面白さを感じながら自分らしい表したい感じになるまで形を変えてつくる。</p>	<p>自分や友達の作品のよさを見付け合い、色や形を工夫した和紙素材の表し方の美しさや面白さに気付く。</p>

3 指導と評価の計画（全9時間）

(1) 授業の流れ

- 第1次 題材との出会い・・・2時間
- 第2次 構想を練る・・・1時間
- 第3次 もとになる形をつくる・・・2時間
- 第4次 和紙素材表現の追求・・・3時間
- 第5次 鑑賞・・・1時間

(2) 題材の指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	和紙素材の参考作品を鑑賞することで、つくってみたい表現方法を見付け出す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">和紙表現の面白さをみつけよう。</div> <p>和紙を使った参考作品を見て和紙素材のよさを見付ける。 白い和紙素材にふれ、どんな表現が出来るか見付け合う。</p>	<ア - > 和紙素材を使った表現の美しさや面白さを見付け、自分の作品づくりに生かそうとする。	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の美しさや面白さを積極的に話している作品 ・見付けた和紙表現を実際に和紙で表している。 	美濃市創造展の作品集（写真、スライド）を紹介し和紙素材の面白さを味わわせ、意欲化を図る。 子どもたちが見付け出した表し方を今後の授業に生かせるよう資料として残す。
2	参考作品の鑑賞をもとに自分の思いをふくらませる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">和紙を使った大根カーニバルグッズを考えよう。</div> <p>どんなグッズを作ったら楽しいかグループの友達と話し合いイメージをふくらませる。 「イメージカード」につくりたいものを書き込む。</p>	<イ - > 形と形、色と色、形と色などの組み合わせによって美しさや面白さの感じが違うことを意識しながら、自分の表したい思いをふくらませる。	<p>「イメージカード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な図や文で考えたことをメモしている。 	美濃市創造展の作品集をもとに和紙の表現や他の素材との組み合わせを具体的に提示する。
3	つくりたいもののイメージを明確にするために、色や形、大きさ、製作手順や必要な道具や	<p>自分がつくりたいものを決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分がつくりたい大根カーニバルグッズの計画を立てよう。</div> <p>自分がつくりたいものの簡単なアイデアスケッチを「アイデア</p>	<イ - > つくりたいものの色や形、大きさ、制作手順や必要な道具や素材を考え、構想を	<p>「アイデアカード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくりたいものの具体的なイメージがもてている。 ・製作手順の 	具体的なイメージが浮かばない児童には、作品集をもう一度見せる。 製作時間が5時間であることを考えて計画を立て

	素材を考え、構想を練る。	カード」にかく。 製作手順と必要な道具や材料を書き出す。	練る。	見通しがも てている。	てるようにする。
4 5	参考資料の鑑賞をもとに根拠をもって接合方法を選択し、材料を組み合わせた材料を組み立てる。安全に注意しながら用具を使う。	いくつかの参考資料から、接合方法の違いを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">材料のくっつけかたを工夫して、もともになる形をつくろう。</div> 材料の形や大きさ等から、接合方法を選択する。(ステイプラー、木工用ボンド、針金等)本時を振り返った自己評価をする。	<ウ - > 根拠をもって接合方法を選択し、順序や方法などを考えながらつくる。	ネームプレート ・板書に位置付けた名札の貼り付けができてい る。 観察 ・有効な接合方法を選択して作業を進めた。 自己評価	接合方法の選び取りが出来ない児童には、製作意図に応じて、方法を示唆する。選び取りは出来たが美しく接合出来ない児童には、示範を通して具体的に指導する。接合方法ごとにコーナーを設置する。
6 7 8	形と形、色と色、形と色などの組み合わせを試すことで様々な美しさや面白い感じになることに気づき新たな発想を加えながら、自分の表したい感じになるまで工夫して表す。	本時の活動の見直しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">和紙のおもしろい使い方を工夫して大根カーニバルグッズをつくろう。</div> 自己課題をもつ。 自己課題に基づいて製作する。 ・グループごとに分かれて製作する。 活動を振り返る。 ・自己評価をする。	<ア - > 自分の表し方を大切に、意欲的に和紙素材の表現方法を工夫する。 <ウ - > 形と形、色と色、形と色などの組み合わせによって、和紙素材の美しさや面白さを感じながら自分の表したい思いをふくらませる。	観察、作品、自己評価カード ・表したいことがよく表現できるようにあきらめないでていねいに活動している。 観察、作品、聞き取り ・和紙素材に向かい、広げる、並べるなどして、新たな発想を加えようとしている。 評価カード ・工夫したことを具体的に書いている。	・色や形に対する関心をさらに高めることのできる参考作品を提示し、製作への意欲化を図る。 ・意欲はあるが具体的な方法に結びつかない児童には、和紙表現の掲示を再度見るよう援助する。 ・製作を早く行う児童に対しては、鑑賞コーナーを設定し、掲示用の人形に作品を取り付けて、さらに工夫するよう指導・援助する。 ・目立ってがんばった児童を抽出し、仲間の援助や手助けがあったことを位置付ける。

9	<p>作品発表をして、自分や友達の作品の表し方や、材料の生かし方などのよさを見付け、表現の美しさや面白さに共感する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>カーニバルファッションショーをして、作品のよいところをいっぱい見付けよう。</p> </div> <p>グループごとに、自分がつくったものを自分の身に付け、登場する。</p> <p>みんなで、「ファッションショーカード」によさを記入し、発表し合う。</p> <p>グループごとに、グッズを鑑賞用作品展示人形に飾り付ける。</p>	<p><エ - ></p> <p>自分や友達の作品のよさを見付け合い、色や形を工夫した和紙素材の表し方の美しさやおもしろさに気づく。</p>	<p>「ファッションショーカード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の美しさや面白さが、表し方や材料の生かし方などの観点で、書いている。 ・意欲的に発言しようとしている。 	<p>作品は、総合的な学習の時間で行う「だいこんパーティー」や、3学期に行う「学習発表会」に使うことを伝える。</p> <p>作品は、鑑賞用作品展示人形にグループごと展示し、作品完成に対する満足感につなげる。</p>
---	--	---	--	---	--

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・形と形、色と色、形と色などの組み合わせを試すことで、様々な美しさや面白い感じになることに気づき、新たな発想を加えながら、自分の表したい感じになるまで工夫して表す。

(2) 本時の位置

6・7 / 9時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
導 入	<p>本時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作手順・方法 ・道具の扱い方 <p>全体課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>和紙のおもしろい使い方を工夫して大根カーニバルグッズをつくろう。</p> </div> <p>自己課題をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に自分が工夫したいことを、自分の作品を具体的に見せながら発言する。 ・教師による参考作品を見る。 ・いくつかの自己課題に整理された板書に、全員ネームプレートを貼る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・第1時で子どもたちが見付けた色々な和紙表現の掲示、接合方法を示した掲示、美濃市創造展の作品写真掲示をコーナー資料とし、学習環境を整えておく。 ・発言を全体課題の下に観点別に位置付けて板書し、一人一人が本時工夫したいことをもてるようにする。 ・色や形に対する関心をさらに高めることのできる参考作品を提示し、製作への意欲化を図る。 ・ネームプレートの活用により工夫が具体的にもてない児童の参考にさせる。
展	<p>自己課題に基づいて製作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに分かれて製作する。 ・ペンチ・錐などの道具は使用専用コ 	<p><ウ - ></p> <p>形と形、色と色、形と色などの組み合わせによって、和</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲はあるが具体的な方法に結び付かない児童には、作品のよさを取り上げ賞賛することで意欲付けし、具体的に工夫するとよいところをいく

開	<p>ーナーで使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステイプラーや透明ボンドなど、みんなで共有して使うものは、持ち出したら、黒板に自分の名前を書いていく。返したら、名前を消す。 ・「色和紙の材料コーナー」から、和紙を必要分持って行き、製作する。 ・製作途中、友達の作品を見合ったり、教え合ったりする。 ・環境設定にあるコーナー資料を見に出かけ、工夫を見付け出す。 ・自分の作品を鑑賞用作品展示人形に取り付け、近くや遠くから鑑賞し、新たな工夫を見付け出す。 	<p>紙素材の美しさや面白さを感じながら、自分らしい表したい感じになるまで形を変えてつくる。</p> <p>〔観察、作品、聞き取り〕</p> <p>④色の組み合わせ 形の工夫 独創性</p> <p><ア - > 自分の表し方を大切にし、意欲的に和紙素材の表現方法の工夫をする。</p> <p>〔観察、作品、自己評価カード〕</p> <p>④新たな工夫 意図性 集中</p>	<p>つか示し、各コーナーに出向くよう勧め、活動に対する見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接合でつまずいている児童には、接合方法を示した資料コーナーに出向くよう勧め、確かめを行うよう声をかける。 ・形に関してつまずいている児童には、和紙表現の資料掲示コーナーに出向くよう勧め、自分の作品に取り入れたい形を見付けるよう声をかける。 ・色に関してつまずいている児童には、色和紙の材料コーナーに出向くよう勧め、小さく切った和紙をいろいろな色の和紙の上にあてさせ、組み合わせて使うとよい色の和紙を選び出せるよう声をかける。 ・製作を早く行う児童に対しては、鑑賞コーナーを設定し、掲示用の人形に作品を取り付けて、さらに工夫するよう援助する。 <p>・目立ってがんばった児童を抽出し、仲間の援助や手助けがあっできたことを位置付ける。</p>
まとめ	<p>鑑賞タイムで、お互いの作品を見合う。</p> <p>活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品を示しながら、すばらしいところを発表して広める。 ・自己評価をする。 		

5 評価の実際と個に応じた指導事例（本時）
 【造形への関心・意欲・態度】

学習活動における 具体的評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断 した児童への指導の手だて
<p><ア - > 自分表し方を大切に し、意欲的に表現方 法の工夫をする。</p>	<p>自分の考えに基づき、手を休めることなく集中 して活動していた。特に、新たな表現を思い付 き、色和紙の材料コーナーに出向き、どの色が 自分の作品のイメージに合うのか、和紙を並べ て色の組み合わせを確かめて使っていた。また、 作品の全体像を知るために、鑑賞コーナーに出 向き、近くからや遠くから眺め、自分の思いと 照らし合わせながら活動へとつないでいた。</p>	<p>土台となる形ができていることを 賞賛し、これからどんなふうにし ていきたいのか聞いたところ、同 じ形の連続を並べて貼っていき たいことと、地の色に対してよく目 立つ色を使いたいと語ったので、 和紙表現の資料コーナーに出かけ 形を具体的に決めた。次は、色和 紙コーナーに出かけ、自分のマン トをいろいろな色和紙にあてて使 う色を決めることができた。自分 の活動に見通しがもてたので、そ の後は、意欲的に活動することが できた。</p>



(A) の例

わくわく大園カーニバルグッズをつくろう

NO. 4 名前

絵柄のおもしろい使い方をくふうして、大園カーニバルグッズをつくらう。

ひらがなでかきましょう。

ぼくはマントのひらひらを
 ばらばらに切って色とりどりの
 えんぴす。

しこりようがカード

自分のアイデアをしっかりとつづけることができた。	<input checked="" type="checkbox"/>
絵柄の色や形をくふうしながらつづけることができた。	<input checked="" type="checkbox"/>
自分の考えのよさをみつけることができた。	<input checked="" type="checkbox"/>

自分の感想を詳しくかきましょう。

色はカラフルにしようとして形は
 したのへんをきざざざにしました。
 とくにひらひらをたくさんつ
 くとつづくたにたんまりま
 した。1番きいているところはひら
 ひらをたくさんつけて色とりどりに
 つくす。

【創造的な技能】

学習活動における 具体的評価規準	「十分満足できる」状況（A）を実現していると 判断した児童の具体的な状況例	「努力を要する」状況（C）と判断 した児童への指導の手だて
<p><ウ - > 形と形、色と色、形と色などの組み合わせによって、和紙素材の美しさや面白さを感じながら、自分らしい表したい感じになるまで形を変えてつくる。</p>	<p>和紙表現の掲示コーナーに出向き、自分のイメージに合う表現を見付け、ひも状にしてねじったり、重ねて貼ったり、ていねいな作業で美しい形に整え接合していった。色に関しては、色和紙コーナーで、配色を思案し、よく検討してから色を選び出して使っていた。立体的な表現や平面的な表現に加え、自分が実際に身に付けるときの動きやすさまで考えて製作した。</p>	<p>形についてつまづいていたので、和紙表現の掲示コーナーに出向くよう勧め、自分のイメージに合う形や使ってみたい形を聞いたところ、一つを選び出した。それを土台となる色の上に貼るときどんな色にしたいか、色和紙の材料コーナーに出向き決めていった。作業はのりを中心に進めるところがほとんどだったので、接合の際ののりの分量を実演して見せた。その後、鑑賞コーナーに出向き、人形につけて確認し、もう一枚違う色を重ねていくことを自分で決めて作業を進めていった。</p>



(A) の例

わくわく大観カーニバルグッズをつくろう

NO. 4 3冊

館内のおもしろい使い方をくわしく、大観カーニバルグッズをつくろう。

自分のアイデアをいしましょう。

ちゅくもようのしましまおどろの色のくみあわせをくわしくしたい。

じこりょうのカード

自分のアイデアをしっかりとつづけることができよう。	◎
館内の図や形をくわしくしながらつくることができよう。	◎
館内の意見のよさをきけることができよう。	◎

自分のアイデアをいしましょう。

色は、かたのちまらちまの所お、その上のリボンの色をくわしくして、形はわしおしをのりあ、つけるのがたいへんでした。

とくに、ローズ色のところと、ちゅく色のところのしましま中にはりおねを入れたことをつづきました。一番おにスアいるところお、かたのちまらちまのしこお、その上のリボンです。

6 参考資料

一人一人のよさや進歩の状況の評価を学習活動に生かす指導の工夫
個の学習状況に応じた教材・教具の多様な指導方法の工夫



色和紙の材料コーナー



鑑賞コーナー



和紙表現の資料掲示コーナー



美濃市創造展の作品写真掲示コーナー



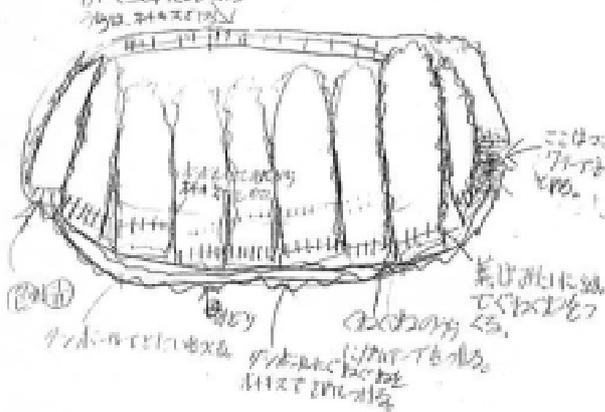
接合方法を示した資料掲示コーナー

わくわく大船カーニバルグッズをつくろう

NO. 2 3年

自分がつくりたい大船カーニバルグッズの計画を立てよう。

【アイデアカード】 自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。同じチームのメンバーの意見も聞こう。



しごきようカード

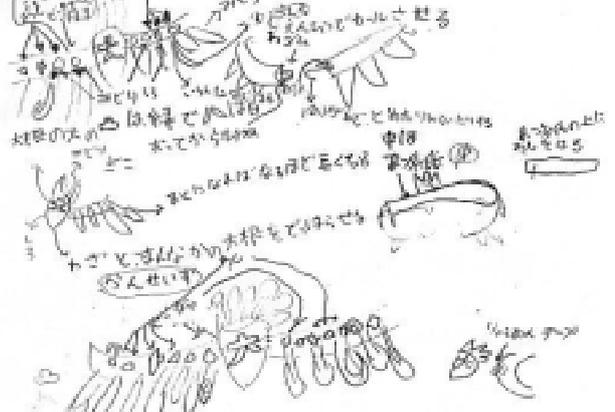
自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。	①
自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。	②
自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。	③

わくわく大船カーニバルグッズをつくろう

NO. 2 3年

自分がつくりたい大船カーニバルグッズの計画を立てよう。

【アイデアカード】 自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。同じチームのメンバーの意見も聞こう。



しごきようカード

自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。	①
自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。	②
自分がつくりたいグッズを絵で表現しよう。	③

アイデアカード



土台となる形をつくる。



カーニバルのリズムに合わせて、みんなで踊った。(音楽の時間)

児童玄関に作品展示

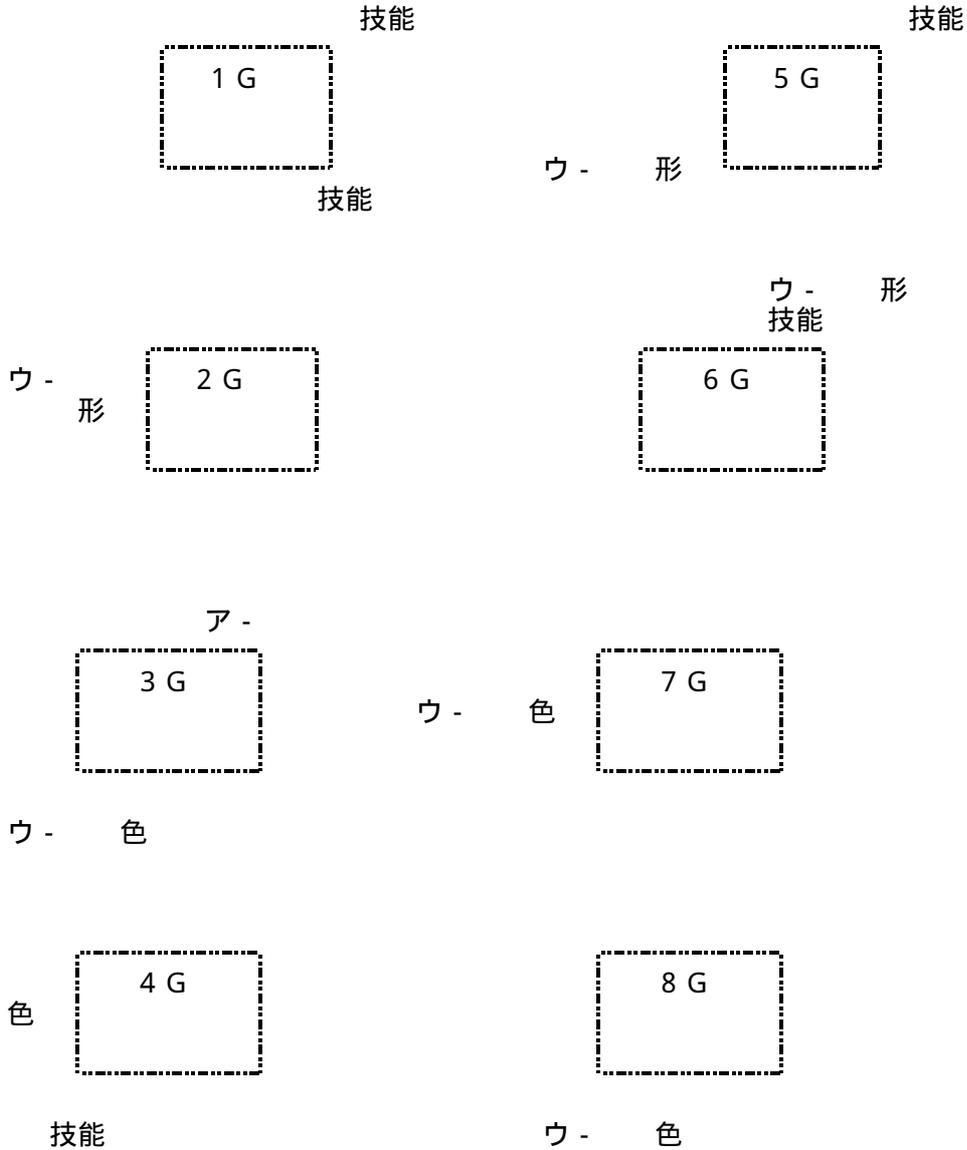


机列表

色
和
紙
コ
ー
ナ
ー

黒 板
材料・道具コーナー

: 男子
: 女子



和紙からこんな形が生まれたコーナー
くっつけるときのヒントコーナー

- ウ - 形に関するつまずき
- ウ - 色に関するつまずき
- ア - 意欲・関心のつまずき
- 技能 道具を扱うことにつまずき

予想されるつまずきに対する具体的な指導・援助

「和紙からこんな形が生まれたコーナー」に出向くよう勧め、友だちが考え出したいろんな表現を見ることで、自分の作品に取り入れたい考えが持てるように声をかける。
 「色和紙の材料コーナー」に出向くよう勧め、小さく切った和紙を色和紙の上にあてさせ、組み合わせるとよい色の和紙を選び出せるように声をかける。
 作品のよさを取り上げ賞賛することで意欲付けし、具体的にもう少し工夫するとよいところをいくつか示し、各コーナーに出向かせる等して、活動に対する見通しをもたせる。
 「くっつけるときのヒントコーナー」に出向くよう勧め、接合方法を参考にさせたり、少しめどがつくまで一緒に作業を行うことで、自信をもたせる。
 和紙同士ののりの接合におけるのりの分量を具体的に示して、自分でできるようにする。

評価個票例

「関心・意欲・態度」については、評価場面でAであれば+欄に、Cであれば-欄に一点ずつ加えていく。+と-の数の差が、評価回数半分以上であればAとする。

「鑑賞の能力」については、前半と後半の2回評価した結果を加算して平均化する。割り切れない場合には、後半の点数に近い数値を取る。

NO.	氏名				
関		発	創	鑑	
+ F	-	F	T	+ T	-
A		A	B	B	
<p>関 作業に集中し黙々と取り組んでいる。三つ編みを工夫した形をいくつか作りだし、仲間に積極的に提示した。</p> <p>発 自分が身に付ける場面を考え、動くときひらひらゆれる形を生み出した。</p> <p>創 接合方法をよく考え、適切に接着剤を選んで使ったが、仕上がりがうまくいかなかった。 <small>ここには、特に印象に残った状況について記入。</small></p> <p>鑑 形のおもしろさに気付いた。 <small>AとCについて判断した状況を必ず書く。</small></p>					

「発想・構想の能力」「創造的な表現の技能」については、各評価場面で児童の実現状況の高まりに従って一点ずつ点数を加えていき、最終的な点数をもって、この題材での評価結果とする。0, 1点がC、2点がB、3点以上がAとする。